

Northwest Outdoor Science School ポジティブ行動サポート計画

NWRES Outdoor School、到着際に開催されるコミュニティミーティングで生徒たちに我々の期待について説明させていただきます。これらの期待は、**自分自身の尊重、他者の尊重、環境の尊重の「3つのR」**に基づきます。我々のスタッフは、IEPに記載されているニーズや不安、ホームシックなど、生徒について我々が持っているあらゆる情報を考慮して、冷静かつ前向きで反応の良い児童管理手法を活用し、生徒がいる場所に対応できるようにしています。生徒が共感、説明責任、責任感、助けを求めることなどのスキルを身につけて卒業できる環境を作りたいと考えております。したがって、**すべての Outdoor School スタッフと教師は、全生徒にポジティブなフィードバックとサポートを提供する責任があります**。Outdoor School、予期せぬ行動について生徒と話す際に手助けが必要な教師は、お気軽にスタッフにご相談ください。生徒リーダーの行動に関して質問や懸念がある教師は、できるだけ早く Outdoor School 現場監督に相談してください。

以下は、**学生が Outdoor School に通っている間、当校のスタッフが（学校のスタッフと連絡をとりながら）利用できるサポートのリスト**です。

口頭でのリマインダー: 一部の生徒は、成功するために「3つのR」の期待を思い出させるだけで十分です。生徒が「3つのR」に沿っていない選択をしている場合、我々は生徒に注意を促し、その期待に応えるための計画を共有するよう促します。

共同的な会話（共感段階）: 生徒が自分自身、他人、環境に対して失礼な決定を繰り返している場合、スタッフはその決定が行われた理由について話し合うよう生徒に促します。我々は、生徒の行動が**なぜ**起きているのかを理解し、協力して問題を解決したいと心から願っています。本会話の焦点は、問題の根本を発見し、アウトドアスクールでの残りの時間を成功させる方法について生徒がアイデアを生み出すのを助けることです。本会話には教師や Site Supervisors が含まれる場合があります。

書面によるアグリーメント: これは通常、共同対話と組み合わせて、現場監督の立会いの下で行われます。学生は、経験している問題の根本原因を書くか口述するよう求められ、さまざまな選択をするためのいくつかの前向きな戦略をリストアップするよう求められます（例：イライラしたり疲れたときに休憩を求める、お腹が空いているときに追加の食べ物を要求するなど）。学生は、アグリーメントに従えない場合の次のステップもリストします。アグリーメントのコピーは学校の職員に渡されます。

修復サークル: 他人に危害を加えた場合には、修復的な会話を誘うことが有益である可能性があります（これは、危害を加えた人も被害を受けた人も両方とも参加したいと考えていることが前提です）。修復サークルは、理解を促進し、和解に向けて努力するために、各人が中断されることなく発言できるようにすることに重点を置きます。

家族との連絡先: 家族は生徒の行動を理解する上で重要です。生徒が書面で交わしたアグリーメントについて家族と話せるようにすることで、生徒が自分の計画を守るのに役立ちます。現場監督者は、家族、生徒、教師、屋外学校スタッフ間の会話を手配する場合があります。

特に生徒の行動が自分自身や他人にとって危険な場合には、生徒が **Outdoor School** を早めに退学して帰宅する決定が下される場合があります。この決定は、生徒と現場監督、生徒の家族、現場の教師、および生徒の学校管理者と協力して行われます。